

令和7年度 認証評価の結果における優れた取組み

公益財団法人 日本高等教育評価機構

1. 大学

機関名	基準項目	優れた点
愛知工業大学	2-3. 内部質保証の機能性	学外関係者の意見・要望の把握に努め、事業計画への反映や三つのポリシーの検証、授業の改善に生かしている点は評価できる。
	A-1. 「ものづくり」を柱とした実学教育	授業、研究活動、各種プロジェクトなどにおいて、「ものづくり」を柱とする実学教育を推進し、学会発表や表彰・受賞などの具体的な成果へとつながっている点は高く評価できる。
秋田看護福祉大学	A-2. 教員と学生による地域との連携	秋田県の委託を受け、学生と教員が一体となった「思春期ピアカウンセリング事業」を20年間継続しており、養成された「思春期ピアカウンセラー」が中高生の心の健康保持やストレス対処を支援し、啓発活動を体系的に行っている点は高く評価できる。
	A-2. 教員と学生による地域との連携	学生が参加する「大館市機能別消防団」の活動は、地域防災力の向上に直結する実践的な地域貢献であり、訓練や研修を通じて安全管理能力を養い、地域住民との信頼関係を築くなど、大学と地域の連携体制が持続的に構築されている点は高く評価できる。
大阪行岡医療大学	3-2. 学修支援	低学年を対象とした「ゼミナールⅡ」では課外学修として基礎学力の補習を行い、学生の学びを促進することを目的として学修方法や基礎科目を教示していることは評価できる。
沖縄国際大学	3-2. 学修支援	障がいのある学生への合理的配慮について、学生支援室及び対面朗読室を設置するなど施設の整備も含め、学生のニーズに応じた多様な学修支援を行っている点は評価できる。
	3-5. 学修環境の整備	図書館に郷土関係資料室、米軍ヘリ墜落事件に関する資料室、研究個室、ラーニング・コモンズ、AVホールや多目的ホールなど、充実した教育研究環境を整備し、正課内外で活用している点は評価できる。
	6-1. 経営の規律と誠実性	「沖縄国際大学環境方針」に基づき、学生・教職員が一丸となって学内外の環境保全に主体的に取組み、コスト軽減の成果を挙げるとともに、「環境活動レポート」として取りまとめ、学内外に公表している点は評価できる。
	A-2. 社会貢献を目的とした地域連携に関する方針に基づき、社会貢献・地域連携に関する取組みを実施しているか。また、教育研究成果を適切に社会に還元しているか。	県内外各地域の企業、団体等との連携により、学部・学科の専門性を生かした個性豊かな地域活動を展開し、学生に幅広い見聞と体験を与えているとともに、地域の企業や住民にとっても役立っている点は高く評価できる。
金沢星稜大学	3-3. キャリア支援	CDP(Career Development Program)に代表される、総合的な資格取得支援の取組みは高く評価できる。
	5-4. 研究支援	研究活動を行っている事務職員に対して個人研究費を配分する制度を設けており、SD研修以外にも職員的能力開発を促進している点は評価できる。
	A-1. 産学地域連携の積極的推進	「SDGs産学地域連携センター」を中心に、学生及びゼミ単位での積極的な地域貢献活動を行い、その成果を地域課題の改善や能登の創造的復興等として地域に還元していることは、高く評価できる。
	B-1. 国際交流・国際事業の積極的推進	多くの高等教育機関と留学等に関する協定を締結している点は、学生がそのニーズや経済的状況等に合わせた留学先を選定できるという観点から高く評価できる。
亀田医療大学	1-1. 使命・目的及び教育研究上の目的の反映	亀田総合病院との連携において、看護師と大学教員との共同研究への助成制度を通じての研究交流は、臨床と教育の共同研究促進だけでなく、卒業後の進路を見据えた学生教育にとっても有用であり、高く評価できる。

亀田医療大学	A-1. 地域社会への貢献に関する活動	大学における地域社会貢献への取組みは、亀田総合病院と連携しながら地域を支える専門人材の育成に貢献していると同時に、大学の知的資源を地域社会へ還元するという側面からも高く評価できる。
岐阜医療科学大学	2-3. 内部質保証の機能性	看護学部看護学科における、所属全教員による授業回ごとの学生の意見収集・分析とそれに基づく改善や、教員の人事評価に教育関係の評価を加える取組みは、教育効果を高め、退学率・留年率を低下させる活動として成果を上げており評価できる。
岐阜保健大学	3-2. 学修支援	学修支援システムを用いて入学前教育、講義の予習・復習、小テスト、レポート提出、課題へのフィードバック、国家試験対策等を行い、学生の学修支援、学修状況の把握、教員と学生の双方向コミュニケーションの実践に活用している点は評価できる。
	A-1. 研究センターを活用した地域との連携	ネウボラの継続母子支援センター、高齢者認知症予防センター、多文化共生・多様性健康推進センター、多職種連携実践センターの四つのセンターが主体となり、地域住民の健康・福祉の向上や促進等に寄与している点は評価できる。
九州医療科学大学	3-4. 学生サービス	医療・福祉を掲げる大学として、被災した学生や児童養護施設を卒業した学生に対して、授業料等の減額や免除などの経済的支援を行っている点は高く評価できる。
	3-4. 学生サービス	学生生活の安定のための支援として、学生の要望に応じて、学内の女子トイレに生理用品を無償設置していることは評価できる。
	4-3. 学修成果の把握・評価	学生アンケートの回答率の低下といった課題に対し、「アンケート実施計画」を策定して実施目的を明確化し、デジタルサイネージでの報告を通じて学生への周知と理解を促進し、回答率の向上につなげている点は評価できる。
	A-2. 大学が持つ教育・研究力による地域貢献	「木城町連携推進事業」は、地域を舞台とするソーシャルワーク教育の一環として長年の実績を有しており、学生は地域課題の把握、解決策を提案するなど、座学では得られない学びと地域理解を深めている点は評価できる。
神戸情報大学院大学	3-4. 学生サービス	「学生応援奨学金」や「外国人（留学生）学費援助奨学生制度」など、独自の奨学金制度を導入し、経済的な支援を積極的に行っていることは評価できる。
	4-1. 単位認定、卒業認定、修了認定	修士論文判定において、主査と副査による共同評価体制を基本としつつ、主査以外の教員による評価にも重きを置いている点は、学術的厳正性及び客観性の観点から高く評価できる。
国際ファッション専門職大学	A-1. 産学・国際連携事業の推進	学生の海外実習地域に海外事務所を設置し、実習先の受入れ体制を整え、学生の実習を細やかにサポートしている点は評価できる。
	B-1. 教授方法と研究活動の有機的な連携事業の推進	4年次必修科目の「卒業制作・計画」では、論文以外にも、制作、ビジネス企画書、映像を成果物として選択できるなど、多様な表現手段を通じて学生の得意分野を伸ばす教育が実践されている点は評価できる。
聖マリア学院大学	1-1. 使命・目的及び教育研究上の目的の反映	建学の精神に基づく大学の個性・特色について、学生に対してはオリエンテーション、授業、学校行事等を通して一貫して説明するとともに、教職員には研修会を継続的に実施するなど、理解を促す取組みは評価できる。
	A-2. 地域貢献の取組み	大学間連携として、久留米市内の高等教育機関と協働で実施した市民公開講座などに、教職員や学生が参画し、多数の参加者数を得ていることは、地域貢献活動の成果として評価できる。
東京聖栄大学	1-1. 使命・目的及び教育研究上の目的の反映	これまでに推進してきた地域連携の取組みを教育内容に落とし込むために、大学の使命・目的及び教育研究上の目的を具体化した科目「地域連携プロジェクト」を設定し単位化するとともに、健康栄養学部管理栄養学科と食品学科の学生が学科の枠を越えて履修できるようにしていることは評価できる。
	2-3. 内部質保証の機能性	「学長・教職員と学生との意見交換会」の定期的な実施及び学生支援センター、学務課において学生の意見・要望を確実にくみ上げ、教育研究の改善につなげていることは評価できる。
	4-1. 単位認定、卒業認定、修了認定	過去に「不可」の学生が多い必修科目において、履修登録をした全ての学生に対して複数回の補習授業を行い、到達目標達成に向けて取り組んでいることは、評価できる。
長崎国際大学	1-1. 使命・目的及び教育研究上の目的の反映	全学共通の必修科目である「茶道文化」や「ホスピタリティセミナー」を少人数のゼミ形式で実施しており、茶道文化を通じて建学の精神を涵養していることは評価できる。

長崎国際大学	3-3. キャリア支援	全学共通のキャリア支援科目である「学際連携と地域の理解」を複数教員や外部スピーカーによるオムニバス形式で実施し、キャリア支援につなげている点は評価できる。
	4-2. 教育課程及び教授方法	全授業科目でアクティブ・ラーニングを行い、学生の主体的な学びを促進することで、学修効果を高めている点は評価できる。
	4-3. 学修成果の把握・評価	ディプロマ・ポリシーに掲げる五つの能力の修得状況を把握するため、学生は年2回、「ホスピタリティ・ルーブリック」を用いて自己評価し、担当教員との面談で成長を確認している点は評価できる。
	5-3. 教員・職員の研修・職能開発	優れた教育活動を実践した教員に対し、ベストティーチャー賞を授与していることは、教育内容・方法の改善への意欲向上につながる効果的な取組みとして評価できる。
ビジネス・ブレイクスルー大学	2-3. 内部質保証の機能性	大学の教育研究水準の向上を図るために、「コンテンツ会議」「第三者評価会議（教学）」「第三者評価会議（企業）」を設け、学外の有識者の助言・提言を受けるシステムを構築していることは評価できる。
	3-2. 学修支援	新入生全員に対して学科長がオンライン面談を実施し、加えて、履修計画や学修ペースを見守るために一人ひとりに教務部職員を担当として配置するなど、入学直後から教職員とのつながりを確保し、相談しやすい環境を整備している点は評価できる。
	4-2. 教育課程及び教授方法	「AirCampus」を構築、運用することで、オンラインでの双方向のアクティブ・ラーニングが可能な体制を確立し、社会人学生の仕事と学業の両立を容易にするなど、新たな大学教育の可能性を開いたことは評価できる。
文化ファッション大学院大学	3-5. 学修環境の整備	歴史的に貴重な服飾関係の所蔵品を学外へ公開するとともに、授業や研究に有効活用していることは評価できる。
山口学芸大学	A-1. 「共にある」から「伸ばし高め、広げる」へ	多くの学生が参画するサークル「子どもの木」が取り組んでいる組織的かつ多様な活動は「地域未来創造人材育成成人（びと）」を養成する大学における学生の自主的な取組みとして評価できる。
	A-1. 「共にある」から「伸ばし高め、広げる」へ	卒業生を対象として実施している「激励訪問」は、就職後の不安軽減や就労意欲喚起に寄与しており卒業後のアフターフォローの一環として有効な取組みであると評価できる。
和歌山信愛大学	1-1. 使命・目的及び教育研究上の目的の反映	地域社会で貢献する人材を継続的に育てる高等教育機関として、卒業生の多くが地域に就職し、また、地域で活躍しており、地域が抱える課題解決の一助となっていることは評価できる。
	4-2. 教育課程及び教授方法	「地域連携フィールドゼミナール」をはじめとする、建学の精神や教育理念を体現するための大学独自の少人数制のゼミナール形式の授業を設置し、地域連携・地域貢献活動を通して教育目的に資する学修成果を挙げている点は高く評価できる。
	A-2. 地域連携・地域貢献の具体化	「きょう育の和センター」と「わかやま子ども学総合研究センター」を活用した取組みが、地域連携・地域貢献を設置の背景に持つ大学独自の個性・特色のある活動として一定の成果を挙げている点は評価できる。

2. 短期大学

機関名	基準項目	優れた点
長崎短期大学	3-4. 学生サービス	保健室と学生相談室は、学生のプライバシーに配慮しながら相互連携を図っており、相談対応後の経過を詳細に記録し、学生が安心して心身に関する相談を受けられる仕組みが機能している点は、質の高い学生支援として評価できる。
	3-4. 学生サービス	併設の長崎国際大学と協働で「学生サポートブック」を作成し、学生支援に係る多様な問題と具体的な対処方法を可視化して教職員間で共有していることは、合理的配慮やその他の学修支援を、より有効かつ一貫したものにする取り組みであり、他短期大学の模範として高く評価できる。
	3-5. 学修環境の整備	近隣の「ハウステンボス」や「九十九島パールシーリゾート」を学外研修施設として位置付け、地域連携及び学生の学びの場として活用している点は、短期大学の特色として高く評価できる。
	4-3. 学修成果の把握・評価	学期末ごとに全学生がディプロマ・ポリシー到達度調査でディプロマ・ポリシーに対応する学修成果を自己評価して学修計画に反映しており、学位プログラムや学科、短期大学レベルで達成度の向上に向けた学修支援・教育改善を行っている点は高く評価できる。
	5-3. 教員・職員の研修・職能開発	優れた教育活動を実践した教員に対し、ベストティーチャー賞を授与していることは、教育内容・方法の改善への意欲向上につながる効果的な取り組みとして評価できる。
	A-1. 地域連携	保育人材の確保と定着に対する地域社会からの強い要請に応えて、地域と連携した教育活動を実践しており、地域に選ばれ、愛され、信頼されることを目指す短期大学としての教育実践活動は高く評価できる。

### 3. ファッション・ビジネス系専門職大学院

機関名	基準項目	優れた点
文化ファッション 大学院大学	3-5. 学修環境の 整備	歴史的に貴重な服飾関係の所蔵品を学外へ公開するとともに、授業や研究に有効活用していることは評価できる。